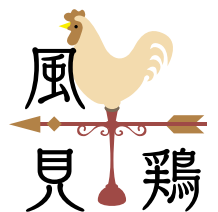


●発行：立科町公民館 ●編集：館報編集委員会 TEL 0267-88-8417



「晩秋の湖畔」女神湖 [写真提供：蓼科写真クラブ]



トマトの「わき芽」をご存じだろうか。茎と葉の付け根から出でくる新しい芽のことで、そのままにしておくと芽の生育に養分が使われてしまうため、通常は取り除かれ捨てられてしまう。

しかし、取り除いた「わき芽」を土の中に挿しておく、なんと、根が生えてきて立派なトマトが実するという。普段家庭菜園すらしらない私は、「植物の茎を土の中に挿すだけで根が生えるのだろうか」と半信半疑ではあったが、プランターへ植えて水を与えていると、驚くことに根が生えてきた。この記事を書いている時点では、緑色のトマトが着々とおおきくなり、あと少しで収穫というところまできている。

普段は捨てられてしまうものでも、意外な活用方法があると嬉しくなる。これもある意味「フードロス」なのだろうか。ただし、家の冷蔵庫は、ご近所さんか



らいただいたトマトで溢れかえっている。本当のフードロスにならないようにしたい。

(K・T)

令和5年度 夏まつり公民館文化発表会

昨年度新型コロナウイルスの影響で「立科町文化祭」が開催できませんでしたので、ケーブルテレビを通して町民のみなさんに活動発表をご覧いただきました。今回は14グループのみなさんに出演いただき、大変盛り上がりしました。出演いただいた公民館活動グループの活動の中で、体験や見学を希望するものがありましたら、ぜひ中央公民館までお問い合わせください。

立科小学校 管楽部・合唱部

喜びの島



立科コーラス

高原列車は行く／涙くんさよなら／心の瞳



うたの会「華」

証城寺のたぬきばやし／われは海の子／クシコス郵便馬車／群青



童謡唱歌を唄う会「やまびこ」

わかば／歌の町／みどりのそよ風／赤いくつ／青い目の人形



陽順会

木曾節／武田節／りんごの唄／津軽タント節／じょんがら六段



立科民謡クラブ

広島木遣り音頭／佐久鯉音頭／津軽甚句／外山節／木曾の山唄



ふれ愛フレンズ

三百六十五歩のマーチ／あの素晴らしい愛をもう一度／上を向いて歩こう



ときめき舞踊会

草津節／おそば音頭／東京スカイツリー



立科太極拳の会

入門・初級太極拳／24式太極拳／42式太極扇



どんぐりころころ

どんぐりころころ／飛んでったバナナ／はらぺこあむし



ときわ会

ぴんころ音頭／炭坑節／立科音頭



小林優香さん

かやの木山の／Intorno all'idol mio



SHINDEN の風

ビューティフルサンデー／銀河鉄道999のテーマ／ふれあい／シクラメンの香り／君をのせて



立科シンフォニー

勝手にしやがれ／亜麻色の髪の乙女／ラブユー立科



令和5年度立科町二十歳の式典

令和5年度立科町二十歳の式典を8月15日老人福祉センターにおいて開催しました。

今年度は記念行事として「二十歳を祝うコンサート」を行い、また、恩師のサプライズ登場もあり、盛大に開催することができました。

3年ぶりに祝賀会も行い、二十歳の式典実行委員の協力によって、旧友との楽しい交流の場となりました。



新成人代表挨拶

飯島 龍



本日は、私達のため
にこのような盛大な式
を開いていただき、誠
にありがとうございます。
また、両角町長は

はじめ、多数のご来賓の方々にご臨席いただき、お祝いや激励の言葉を頂きまして、新成人を代表して心より御礼申し上げます。

私たちは豊かな自然に恵まれたこの立科町で育ち、様々な発見や経験を通してここまで成長することができました。共に歩んできた仲間たち、ご指導くださった先生方、いつも近くで見守って下さった地域の方々、そしてたくさんの方々の愛情をそそいでくれた家族に感謝の気持ちでいっぱい입니다。この場を借りて心より感謝申し上げます。

私たちは成人したばかりの社会人であり、社会に出て働いている人、学生として勉強中の人、まだ将来の道を迷っている人、さまざまです。しかし、成人として晴れの門出をも迎えた今、責任と自覚を持ち、大人として恥ずかしくない人でありたいと思います。最後になりますが、私たちは社会人としてまだまだ未熟です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願っています。今日まで育ててくださった多くの方々に感謝し、新成人代表のあいさつとさせていただきます。

公民館生涯学習講座 「立科すずらん学級」



ゲートボール大会

令和5年度1回目のすずらん学級によるゲートボール大会を、6月2日に屋内運動場で開催しました。試合はとても盛り上がり、途中で休憩を挟みながら、和気あいあいとした雰囲気で行うことができました。



eスポーツ体験会

話題のeスポーツの体験会を6月10日に中央公民館視聴覚室で開催しました。講師に長野県eスポーツ連合の方をお招きし、「太鼓の達人」を楽しみました。まずは講師から「eスポーツ」の概要を説明していただき、実際に「太鼓の達人」を体験しました。その後、2人1組になり、トーナメント方式の大会で競いました。とても盛り上がり、参加者全員に楽しんでいただくことができました。



映画鑑賞会

公民館と地域包括支援センターとの共催による映画鑑賞会を7月8日に開催しました。昨年度好評だった「ぼけますから、よろしく願います。」の続編を上映し、多くのみなさんにご覧いただきました。この作品は認知症をテーマにしたドキュメンタリーで、重いテーマではありますが、ユーモアたっぷりに描かれています。笑い、感動すると同時にとても考えさせられました。



公民館女性部研修旅行



令和5年度公民館女性部研修旅行が7月2日に行われました。研修場所は静岡県で、日本平ロープウェイと久能山東照宮、そして大河ドラマ館を巡りました。

ロープウェイから望む海の景色は素晴らしい、久能山東照宮では徳川家康の墓地などもあり、歴史を感じることができました。

昼食には「焼津さかなセンター」にて海の幸を満喫し、みなさんたくさんのお土産を買ってらっしゃいました。

天候にも恵まれ、かなり暑い中での行程となりましたが、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

分館紹介

細谷分館

山部分館

細谷分館

細谷分館長 小林裕一

皆さんこんにちは。本年度、細谷分館では三年間新型コロナウイルス感染症の影響により見送られておりました行事や事業を従来の計画に戻して開催すべく取り組んでおります。立科町の分館人権教育、環境衛生活動、立科えんごこ、少年スポーツ大会、分館対抗球技大会等。また、分館行事の床下消毒、草刈作業、育成会(母親クラブ)との各種レク活動等。新型コロナウイルスの位置付けが2類相当から5類感染症に移行されましたが、無くなった訳ではないので、感染に対する考え方には個人差があります。従来のやり方通りにすることに難色を示す方も少なくはない状況です。どんな風にイベントを開催したら良いのか、中止した方が良いのか、判断に悩みます。

今年四年ぶりに開催を決定した「立科えんごこ」でしたが、細谷は分館での参加を見送り各個人参加としました。しかしながら、細谷では、幼児を含め子どもたちが50名に及びます。子どもたちの要望もあり「お楽しみ会」を「細谷夏祭り」と称して同日、公民館でレクリエーションを開催しました。屋外での焼肉、スイカ割りなど、大変盛り上がりしました。細谷の子どもたちは元気一杯です。

少年スポーツ大会にも参加し、子どもたちの疲れ知らずに走り回る姿に感銘しました。

短文ではございますが最後に、細谷は、そんな子どもたちを大切に思い、将来の思い出になればと、立科町の行事参加を含め、今後も世情に合った行事を企画して行きたいと考えております。子どもが立派に育つ地域にして行くことが大事なことと思っております。

一言、今年、分館長として行事を遂行して行くことが出来るのは、細谷区民の皆様と頼りになる今年の細谷公民館役員の尽力によるものであり、感謝の念に堪えませぬ。この場を借りありがとうございますと一言させていただきます。



山部分館の紹介

山部分館長 齋藤暢明

「集会 飲食すべて解禁にしましょうー」新型コロナウイルス感染症の五類移行を受け山部分館祭りを話し合う会合で思わず宣言してしまつた。山部の役員に反対意見はない。「飲む」ことは何事にも優先する。四年ぶりの夏祭りの計画はこうして始まつた。

しかし、三年間のブランクは大きく、五里霧中からの出発。記録や記憶を頼りに計画は徐々に進むが不安だけが募る。長野に移住して六年。夏祭りは一度も経験したことがなかつたからだ。

ニジマスつかみ・浮き金魚すくい・焼き鳥、焼き肉、焼きそばなどの屋台村、そつめんの振る舞い、大抽選会、花火大会等々。四年前より縮小したり拡張したり。「あとは何とかなるから大丈夫」部落長の力強い一言で八月十四日を迎える。

当日準備。「何から始めたらいい」次々に集まってくる山部の若い衆(?) 婦人部の人達。着々と準備は進む。シニアクラブの人達が整備したきれいな花壇の傍らにテントが立ち、ニジマスの池がでぎ、あつとつ間に準備が完了する。山部のパワーの爆発である。



立科音頭が大音量で流れる中、台風接近の報を受け早めの開会。山部にこんなに子どもがいたのかと思えるほどたくさんのお客様。子ども達の歓声。大人の笑い声。大盛況の中、祭りは進行する。用意した食材も次々に完食。祭りの最後の大抽選会。フィナーレの子ども花火大会。笑い声が弾けたひと時であった。三年間の隠遁生活を経ての山部分館に地域の人の集いと笑い声が復活した。

新着本の紹介

「カモナマイハウス」
重松 清／著 中央公論新社

不動産会社で空き家メンテナンス業に携わる孝夫。ある日、妻・美沙の実家が、「空き家再生プロジェクト」の標的になるが…。空き家をめぐる家族の絆の物語。



「トットちゃんの15つぶのだいず」
黒柳 徹子／原案 柏葉 幸子／文 松本 春野／絵 講談社

トットちゃんが小学2年生のときに、日本は戦争をはじめました。ある日、とうとう、1日の食べものがだいず15つぶだけになってしまいます。それも、夜までなんつぶか、残しておかなければならないのです。



「私たちの世代は」
瀬尾 まいこ／著 文藝春秋



小学3年生になる頃に今までにない感染症が流行し、不自由を余儀なくされた2人の少女、牙と心晴。牙は中学でイジメに遭い、心晴は休校明けに登校するきっかけを失って以来引きこもりになってしまふ。それでも周囲の人々の助けもあり、やがて就職の季節を迎えて…。

寄贈者(敬称略・順不同)

たくさん寄贈していただき、ありがとうございました。紙面にて、お礼にかえさせていただきます。

〔本〕立科町遺族会 他匿名 多数

図書館利用案内

お一人 5冊まで(新刊本、雑誌は4冊まで)

2週間借りられます

開室時間 ●月曜～金曜 午前10時～午後6時
●土曜 午前10時～午後5時
●日曜・祝日 午後1時～午後5時

休室日 毎月最終の月曜 年末年始
蔵書点検、館内清掃など特別に決めた日

お話会のお知らせ

「ちいさなおともだちのおはなし会」

日時 10月25日(水)午前10時30分～

場所 中央公民館 視聴覚室

対象 0歳児～

対象 大型絵本、絵本、紙芝居、ペープサート 等

年間貸し出しランキング(2022.8～2023.7貸し出し)

〈一般書〉

- 1位 汝、星のごとく (凧良 ゆう／著 講談社)
- 2位 #真相をお話します (結城 真一郎／著 新潮社)
- 3位 ハヤブサ消防団 (池井戸 潤／著 集英社)
- 3位 カムカムマリコ (林 真理子／著 文藝春秋)
- 3位 掬えば手には (瀬尾 まいこ／著 講談社)

〈絵本・児童書〉

- 1位 大ピンチずかん (鈴木 のりたけ／作 小学館)
- 2位 ねこのラーメン屋さん (KORIRI／作 絵 金の星社)
- 3位 ノラネコぐんだんうみのたび (工藤 ノリコ／著 白泉社)
- 3位 たんけんハンドルくるま (やおい ひでひと／作 偕成社)
- 4位 うんこしりとり (tupera tupera／著 白泉社)

●蔵書検索はこちらから スマートフォン URLが新しくなりました!

<https://opac.libcloud.jp/tateshina/>



携帯電話

<https://opac.libcloud.jp/tateshina/wopc/pc/mSrv?dsp=TP>



パソコンは、立科町公式ホームページ
トップのパナーをクリック!

図書館利用者様から 子供と本の付き合い方

依田 美里

我が家には3人子供がいるのですが、子供たちの生活は良くも悪くも驚きの連続です。

図書館で借りてきた本を喜んで見ていたかと思えば、ちよつと目を離れた際に、ビリビリビリ。本を座布団にしてテレビ観賞。母は思わず絶叫です。

破いてしまった本を返却する時、「大丈夫ですよ」と優しく言うくださり、快くまた本を貸してください。さる図書館の方には、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

そんな子供たちですが本は大好きです。親であるわたしも、たくさん本を通して、我が子を深く知り、成長を感じることができて嬉しく思っています。

最近では、小学1年生の長女が、学んだばかりのひらがなを一生懸命読み、下の兄妹に絵本の読み聞かせをしてあげています。なんとも嬉しい光景で、ほっこりします。

4歳の長男は、その時にハマっているものに関する絵本を何度も「読んで」と持ってきます。おかげで息子の興味・関心に理解を深めることができています。

2歳の次女はアンパンマンの絵探しが好きです。いつの間にか、何がどこにいるかを指差しできるようになっていました。探し出せるものもあれば、何度も見ても場所を覚えたものもあり、どちらにしても成長を感じられます。

子供たちのこれからの人生、本とは長い付き合いであることを期待して、本の大切さや扱い方を教えて、親子で楽しく付き合っていきたいと思っています。



リレー回想



私は だれ？

村田 長年

- ①私は一九二七年(大正六年)芦田の生まれでまだ生家がそのまま残っている。
- ②中央大学法学部をでて芦田中学校で英語の教師になった。
- ③「宝石」の百万円懸賞コンクールで「罪深き死」の構図が1等入選。
- ④テレビの「私だけが知っている」の脚本レギュラーに。後年「火曜サスペンス」などでも作品がとりあげられる。
- ⑤公民館図書室に私のコーナーが有り、作品が50点ほどある。
- ⑥私は立科町名誉町民の第一号に選ばれた。

この人物は、推理作家の土屋隆夫さんです。作品を読むと、三〇年以上前の作品なのに現代の課題も取り上げている先見性に驚かされ、また、作品の舞台にこの地域がしばしば登場する郷土愛を感じないわけにはいきません。もちろん推理小説ですから、「ああそうだったんだ」とトリックに納得も。土屋隆夫さんの作品に惚れ込んだ者が集まって、土屋隆夫さんの作品をもっと知ろう。もっと知ってもらおう。と始まったのが「土屋隆夫ミステリー研究会」です。まだ生まれたばかりの研究会ですが、テレビ作品を鑑賞したり、先生の教え子さんに当時の様子を語っていただいたりと例会を行っています。

皆さんのぞいてみてください。例会は月末の週の月または火曜日です。参加お待ちしています。



クラブ訪問



社交ダンスは美しく楽しく

大澤 康雄

当クラブは、社交ダンスクラブです。コロナに翻弄された三年間。ダンス界では接触が多い為、ダンスファンの減少で、なるべく接触の少ないソロダンスを開発して、ダンスの基礎を取り入れたステップを一人でも楽しく踊ることが出来ます。社交ダンスはどんな踊りなのかと言いますと、



ブルース…ゆったりした曲でやさしいステップの踊り。
マンボ…軽快な音楽で男女が向き合って踊ります。
ジルバ…軽快な音楽で、手を取り合って踊ります。
スクエアルンバ…ゆったりした曲で、前後左右に踊る。
ワルツ…3拍子の優雅な踊り。

タンゴ…スタックカートで情熱的な踊り。
ルンバ…男女の恋愛模様を表現する踊り。
チャチャチャ…アップテンポで切れある踊り。
スローフォックストロット…ゆったりとして、流れるような踊り。

ウィックステップ…テンポの速い駆け巡る踊り。
サンバ…ビートが特徴的な明るく華やかな踊り。



パソドブレ…スペインの闘牛を模した力強い踊り。
ウインナーワルツ…舞踏会を連想させる早い3拍子の踊り。
ジャイブ…軽快な音楽で弾むような踊り。
以上、社交ダンス14種目の特徴です。

今時流行らない社交ダンスですが、アンチエイジングで健康にとっても良いスポーツです。覚えれば一生の宝物になると思います。

7月から5回の講習会を行って来た続きで、夜に行ってほしいとの声があり、10月から定期的に開催を企画しております。ご興味のある方は中央公民館へお問い合わせください。大勢の参加をお待ちしております。



ご挨拶

中央公民館館長 市川 正彦

この四月より、館長として公民館事業に携わることとなりました。出身は西塩沢です。町民皆様には様々な場面でお世話になることも多いかと思いますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。さて、公民館の目的とは何か。

昭和二十四年に公布された国の法律「社会教育法」には、「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、實際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする」と定められております。この目的に沿って、講習会や講演会、発表会、スポーツ活動やサークル活動など様々な事業が展開されています。

終戦後間もない時期にこの法律が制定されてから七十四年、現在の社会情勢は皆さんもご承知のとおり、少子高齢化、核家族化が進み、また、コンピューター技術の発展により高度情報化社会が進展しており、誰でも、何時でも、どこでも、様々な情報や知識を瞬時に得ることが出来る時代になりました。然しながら、こういう時代だからこそ、絆を深め、持続可能な地域社会を存続するために、公民館の目的は色褪せることなく、むしろその重要性が益々増しているのではないかと感じております。

立科町の公民館事業は、地域住民の皆さんや分館役員の皆さんに支えられて、ずいぶん学級をはじめ各種事業を展開してまいりました。

今までの事業の継続を基本に、多くの皆さんが参加できる活動に取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしく願います。

公民館長退任のあいさつ

羽場 雅敏

令和4年度末をもって1年間の公民館長職を退任いたしました。

在任中は、地域の皆様に様々な場面でご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

立科町では、中央公民館と33の分館により、各種公民館活動を行っておりますが、昨今は、世情により、公民館活動が制限されております。

感染症の更なる落ち着きを願うとともに、以前のように、地域の皆様の自発的な公民館活動が推進されますことを心から願ひまして、退任のあいさつとさせていただきます。



編集後記

今年の夏も全国的な猛暑となりました。7月には世界の平均気温が観測史上最高の見通しとなり、地球温暖化ならぬ「地球沸騰化」が話題になりましたね。

第75号館報立科をご覧いただきありがとうございます。多大な影響を受けていた新型「コロナウイルス」は、今年の5月に2類から5類となり、いろいろな事業が再開されています。ウイルスが無くなった訳ではありませんので、引き続き注意は必要ですが、今年は大変「熱い」夏を過ごすことができました。「分館対抗球技大会」「二十歳の式典」等々、皆さまには多くの公民館事業にご協力、ご参加いただきましたことを、心より感謝申し上げます。今後も皆さんの「学び」「集う」交流の場となるよう、励んでまいりますので、館報並びに公民館事業をよろしく願います。

(K・T)